(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2013-17761
(P2013-17761A)
(43)公開日 平成25年1月31日(2013.1.31)

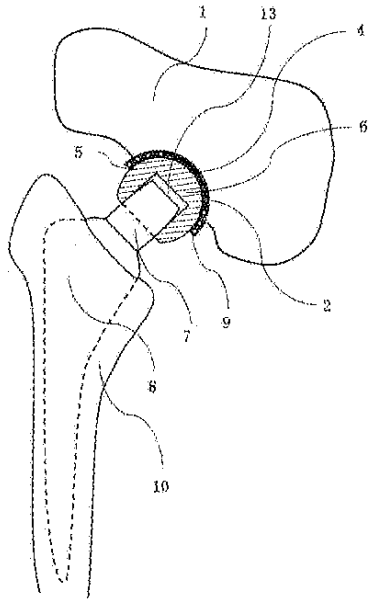
(51)Int.Cl.	F I	テーマコード（参考）
A61F 2/34 (2006.01)	A61F 2/34	4C097

審査請求 未請求 請求項の数 8 ＯＬ （全 20 頁）

(21)出願番号 特願2011-155370 (P2011-155370)
(22)出願日 平成23年7月14日 (2011.7.14)

(71)出願人 508282465
ナカシマメディカル株式会社
岡山県岡山市東区上道北方６８８－１
(71)出願人 599035627
学校法人加計学園
岡山県岡山市北区理大町１－１
(74)代理人 100088993
弁理士 板野 嘉男
(74)代理人 100107917
弁理士 笠原 英俊
(72)発明者 金枝 敏明
岡山県岡山市北区理大町１－１ 岡山理科大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】人工股関節

(57)【要約】
【課題】 金属製のスプリングをアウターカップとインナーカップの間に広く分布させ、受ける衝撃をより緩和するとともに、摩耗を減じて摩耗粉を原因とするルーズニングを抑制する人工股関節を提供する。
【解決手段】 寛骨臼に嵌入される内部が空洞の半球状の金属製のアウターカップと、アウターカップに嵌入される同じく内部が空洞の半球状の金属製のインナーカップと、インナーカップの内部に突出部分を有して才差運動可能に嵌入される略球状をした金属製の人工ヘッドと、人工ヘッドの突出部分に大腿骨に挿入されるステムに続くネックが差し込まれる人工股関節において、アウターカップの内面とインナーカップの外面との間に金属からなる筋状の弾性体を分散させて介在させ、インナーカップからアウターカップ又はその逆に衝撃が加わったときに弾性体が弾性変形して当該衝撃を吸収するとともに、変形が最大のときでも、アウターカップの内面とインナーカップの外面とに間隙が保たれるようにする。
【選択図】 図１